

2-C-6.

新梱包資材に開発による高品質で地球環境に優しい引越サービスの実現 ＜日本通運(株)＞

1. 概要

項目	内容
包装資材等削減対策	輸配送への通い容器の使用 輸送中の緩衝材、包装資材の削減 輸送中の緩衝材、包装資材の再使用 輸送中の緩衝材、包装資材のグリーン商品(環境負荷の低い素材)の使用
主な対象貨物	引越貨物
導入時期	2003年5月

2. 背景(実施理由、狙い、導入の経緯)

1) 実施理由

- ・ 包装資材費の低減
- ・ 包装資材の廃棄処理費の削減
- ・ 荷傷みの防止
- ・ 委託元の意向
- ・ 配送先の意向
- ・ 荷役時間の短縮

2) 狙い

- ・ 引越時に出る膨大なゴミを削減し、地球環境に優しいサービスの実現。
- ・ 引越時におけるお客様の負担の軽減。
- ・ 引越時間の短縮による費用の低減。
- ・

3. 事業内容

- ・ 引越用新商品「えころじこんぼ」の開発により、従来引越において使用していた、ダンボール、エアークャップ、片面ダンボール、スーパー縄、クレープ紙、ガムテープ等の資材を使用せず、地球環境に優しい引越サービスを実現した。

4. 対策効果

年間削減量(当社推計) 巻

ダンボール	約 138 万本
エアークャップ	約 70 万本
紙ハンガーボックス	約 138 万個
スーパー縄	約 34 万巻
クラフトテープ	約 74 万巻
カートン	約 103 万個
食器用包装紙	約 619 万枚